

令和5年度 狭山市立富士見小学校学校関係者評価表

※評価資料：保護者による学校運営に関するアンケート（12月web回答にて実施）

※【保護者評価の目安】

- A：十分に達成されている
- B：概ね達成されている
- C：どちらかというところである
- D：不十分である
- E：わからない

A～Eのうち1番多かった保護者評価を明記

評価の分析説明

| 領域 | 番号 | 評価項目 | 保護者アンケート結果からの考察 | | 学校関係者評価委員会から |
|---------|----|---|-----------------|--|---|
| | | | 評価 | 説明 | 評価(文章表記) |
| 学校運営全般 | 1 | 教職員は、学校経営方針の具現化を図るために積極的に取り組んでいる。 | B | ①92%が積極的に取り組んでいると回答。めざす学校像は「笑顔があふれ、自分から進んで取り組み、元気いっぱいの学校」であった。全職員が「笑顔」と「自分」「元気」を合言葉に児童の育成にあたった。 ②91%の児童が「学校が楽しい」と感じていた。残り約9%の児童へ引き続き支援を講じていく。 | ・学校へ行くと子供たちの明るく楽しいような声が聞こえてくるが、そこには笑顔で楽しく子供たちに接している先生がいて、学校運営方針が先生達へ徹底されているように思える。 ・楽しい先生、笑顔の先生がいれば子供たちも自然と笑顔になり学校が楽しくなるでしょう。 |
| | 2 | 児童は、「学校が楽しい」と言っている。 | B | ③94%が熱心であると回答。児童一人一人へのきめ細かい指導が行き届いていた。学力・学習状況調査の結果も、平均がそれ以上であった。授業づくりに熱心な職員が多い。 ④92%が「様々な相談に対して、適切に対応している」と回答。担任だけでなく、他の職員や、さやまっ子相談員、カウンセラー、スクールソーシャルワーカーも親身に相談にあたった。 | ・目指す学校像に向かって教職員がしっかり理解し、具体的に子供たちに普通の生活で話している様子(指導している様子)がよくわかります。よって子供たちが楽しいと感じているのではないのでしょうか。校内にもありますが、市にもいろいろな相談機関があります。適切な運用がされているのがわかります。施設が老朽化しています。安全管理が組織で適切に行われている様子がわかります。学校だけでなく年間にも組まれていますが、PTAによるトイレ清掃など素晴らしい取り組みだと思います。 ・先生方の積極的な取り組みに感謝しています。残り約9%の「学校が楽しい」と感じていない児童の支援も大変な中やっていたらいいと思います。 |
| | 3 | 教職員は、担当する学級の経営や教科等の指導に熱心に取り組んでいる。 | B | ⑤84%が安全に管理されていると回答。校舎内外の破損個所や危険個所の修繕など、安全管理は積極的に行った。大きな事故は皆無であった。課題は和式の多い高学年トイレへの老朽化の意見が多かった。PTAの協力を得てトイレ清掃を行った。 | ・今回提示されました「自己評価」「保護者アンケート結果」より学校運営は問題なく進められていると判断してよいと思います。 ・学校関係者の(地域・保護者)情報は「スクリーン」を活用し、十分なせております。選別した情報を自治会会議でも情報提供しております。 |
| | 4 | 学校は、保護者からの様々な相談に対して、適切に対応している。 | B | | ・先生方は業務に追われる中、各学年だより、週報、写真館等、また、教育委員会情報などこまめに情報発信を行っています。 ・授業参観時、先生方の授業前準備の苦労に頭が下がります。先生方・児童の笑顔は、地域の方も明るくしてくれま。 |
| | 5 | 学校の施設・設備は安全に管理されている。 | B | | |
| 学力向上 | 6 | 学校は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。 | B | ⑥92%が「児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している」と回答。体育科の校内研修により、授業力の向上を図ってきた。 | ・約90%の保護者が概ね達成していると答えているの素晴らしいと思います。 先生方の指導が良いと保護者が認めている。 |
| | 7 | 学校は、「読む・書く」「計算」等の基礎学力を確実に身につけるよう指導している。 | B | ⑦91%が基礎学力が身につけていると回答。朝の算数タイムや朝学習で習熟を図ってきた。長期休業中もタブレットを活用し基礎学力の定着をめざした。 | ただ一人一人足りないものは違うので、全てを先生方が面倒見るのは不可能。そこは家庭で補うように保護者へ伝えてあげて、足りない部分は塾やスクールなどで補ってあげるのが保護者の責任だと思います。 学校へ丸投げで全て良くなるわけがないですからね。 |
| | 8 | 教職員は、授業を通して、児童の思考力・判断力・表現力を育てている。 | B | ⑧90%が思考力・判断力・表現力が育っていると回答。主体的で対話的な深い学びへの授業を通して、考える力が育ってきている。 | ・保護者アンケートの結果からも先生方が熱心に指導されている様子がよくわかります。また、タブレット等を利用して授業や補習が定着している結果だと思います。特に注目されている思考力、判断力、表現力が90%を達成できているのは素晴らしい。 ・総合的な学習の時間など学ぶ範囲が広く児童も大変だなと思いました。児童の頭は吸収する力があるのですね。 ・課題は基礎学力が見身に付いていない児童の対応と思いますが、タブレットの有効利用を望みます。 |
| | 9 | 学校は、児童に家庭学習の習慣が身につくように指導している。 | B | ⑨85%が家庭学習の習慣を身につけていると回答。本校ではおおよそ学年×10分以上の家庭学習を毎日課してきた。タブレットを活用した宿題等も少しずつ定着してきた。 | |
| 規律ある態度 | 10 | 学校は、児童に進んであいさつができるよう指導している。 | B | ⑩86%が進んであいさつができるよう指導していると回答。地域へのあいさつという点、進んでという点で、課題がある。 | ・あいさつをすればみんな元気にあいさつをしてくれま。でも、こちらがあいさつを待っているとしてくれない子もいます。知らないおじさんに警戒されているだけでもしれませぬ。 |
| | 11 | 学校は、児童が時と場に応じた言葉遣いができるよう指導している。 | B | ⑪84%が言葉遣いの指導をしていると回答。正しい日本語が身につくよう、職員が指導に努めている。 | ・この項目では、保護者アンケートで控え目につけているのかなと思いますが、Aが数値的に低いのかなと思います。学力向上に関しましてはこの数値の向上がかなり影響をしますので頑張ってください。正しい日本語教育では、保護者への指導も必要となります。いろいろな機会に呼びかけられていると思いますが頑張ってください。 |
| | 12 | 学校は、児童がお互いのよさを認め合うことができるよう指導している。 | B | ⑫87%がお互いのよさを認め合うことができていると回答。児童のアンケートでもよさを認め合える児童が増えた。 | ・あいさつはよくできていると思います。地域の高齢者から「小学生があいさつしてくれるけど、どこの子？」と聞かれる時がある。 |
| | 13 | 学校は、児童がマナーやルールを守って生活できるよう指導している。 | B | ⑬90%がマナーやルールを守って生活していると回答。学習規律も守って生活できている。 | ・あいさつのできる児童もいればできない児童もいる。もう少し積極的なあいさつができるとよい。 ・廊下の右側歩行が守られていないように感じる。 |
| 健康・体力向上 | 14 | 学校は、児童の体力が高まるよう指導している。 | B | ⑭87%が体力が高まるよう指導していると回答。一方、本校の新体力テストの結果は昨年より伸びている。A+B+C評価で県は77.7%、本校81.8%校内研究では体育の授業研究に取り組んでいる。成果がでている。 | ・休み時間になると走って校庭へ行って遊んでいる子が多いですね。放課後も校庭で楽しく遊んでいる子が多い印象を受けます。子供たちは遊びながら体力向上しているのだと思います。 自転車はまたまヘルメットを被らずに乗っている子や曲がり角をスピードを落とさず曲がって来る子を見かけます。「かぶりましよう」ではなく「かぶらないといけない！」という指導をお願いします。 |
| | 15 | 学校は、児童が健康を意識した生活ができるよう指導している。 | B | ⑮90%が健康を意識した生活ができるよう指導していると回答。衛生面についての意識は高い。 | ・自転車のルールが改正されましたが、富士見小独自の厳しい交通安全ルールがあっても良いのではないのでしょうか。それを地域と共有して子供たちを見守ってもらう事は必要だと思います。 |
| | 16 | 学校は、交通安全・防犯活動に積極的に取り組んでいる。 | B | ⑯89%が交通安全・防犯活動に積極的に取り組んでいると回答。 | ・新体力テストの結果が伸びているのは素晴らしいと思います。体育を研究されている成果が出ているのではないのでしょうか。体力は生活科の中でついていきます。ぜひ続けていってください。 ・下校後、児童の声は地域では聞けないのでさみしいです。学校内ではとても元気な声が聞けて元気が伝わってきます。 ・特に2年生の一年間の体力向上には目をみはる様に向上していただけた。 |
| 地域連携 | 17 | 教職員は、保護者や地域との連携を図りながら教育活動に取り組んでいる。 | B | ⑰87%が連携を図っていると回答。PTAとの連携により、通学班の見直しを行った。 | ・通学班の見直しをはかり、子供会とPTAを切り離したのはよかったですと思う。それにより子供会が解散する地域があったり弊害は少しありました。子供と大人、地域の繋がりを絶やさない活動をこれから期待します。お茶の体験授業で富野園さんを紹介させていただき、子供たちにお茶作りの体験してもらおうことが出来た。 |
| | 18 | 学校は、便りやデジタル配信で、教育活動を家庭に情報提供している。 | A | ⑱95%が情報提供していると回答。デジタル連絡ツール「スクリーン」を通して学校情報の発信してきた。学級閉鎖のクラスはタブレットを用いて朝の健康観察を行った。また、欠席した児童へ授業の生配信を実施した。 | スクリーンは保護者への情報提供がよく出来ていると思います。やりすぎ？と思うくらい一生懸命やってくれているのが伝わってきます。後、プリントアウトできる機能があるととても便利になると思います。(複数) ・情報の提供は便利になった。地域連携も努力しているように思う。 |